

事業場におけるメンタルヘルス対策を促進させる リスクアセスメント手法の研究 にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、(研究課題名)を実施しています。

【研究課題】

事業場におけるメンタルヘルス対策を促進させるリスクアセスメント手法の研究(審査番号：10500-(1))

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野

研究責任者 川上 憲人・東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野・教授

担当業務 研究統括・データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

北里大学医学部 公衆衛生学 堤 明純 担当業務(データ解析)

(独)労働安全衛生総合研究所 原谷隆史 担当業務(データ解析)

(公財)労働科学研究所国際協力センター 吉川 徹 担当業務(データ収集・データ解析)

東京医科大学公衆衛生学・公衆衛生学 小田切優子 担当業務(データ解析)

東海大学健康科学部 看護学科 錦戸典子 担当業務(データ解析)

東京工科大学医療保健学部 五十嵐千代 担当業務(データ収集)

(一財)京都工場保健会産業保健推進部 森口 次郎 担当業務(データ収集)

【研究期間】

承認後 5 年間 (2014 年 06 月 30 日 ~ 2019 年 06 月 29 日)

【対象となる方】

東京都大田区内の中小規模事業場およびその従業員、京都府京都市内の中小規模事業場およびその従業員(それぞれ5事業場,計10事業場,各事業場5-150名,総計50-750名)の方で、調査票(あるいは面接)に回答した方。

【研究対象者として選定された理由】

対象となる中小規模事業場は、各研究機関と過去あるいは現在職務上の関係があり、中小規模事業場ご担当者にご本研究のご協力をお願いをいたしました。

【研究の意義】

中小規模事業場にも普及可能な職業性ストレスのリスクアセスメント手法

(改善対策も含む)を開発し、好事例などを通じてその実効性、有用性を示し、行政施策としての展開の基盤整備をはかること。

【研究の目的】

事業場におけるメンタルヘルス対策が重要になってきています。職場における職業性ストレス(心理社会的要因)のアセスメント(査定)、対策の計画立案、対策の実施、対策の評価と改善という一連のサイクルによる対策が主流となってきています。わが国でもメンタルヘルス不調予防のための職場改善の取組として、「職場環境の改善・快適化を進めることにより、メンタルヘルス不調を予防するという観点から、パワーハラスメントも含め、職場における過度のストレスの要因となるリスクを特定、評価し、必要な措置を講じてリスクを低減するリスクアセスメントのような新たな手法を検討する。」ことを盛り込むことが検討されています。また取り組み方策の分からない事業場への支援、特に小規模事業場に対する支援の強化を図ることが検討されています。本調査では中小規模事業場を対象とした職業性ストレスのリスクアセスメント手法と改善対策方法を開発し、モデル事業の実施を通じて、それらの手法の実施可能性、有効性、および残された課題を明らかにすることです。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

本調査でのモデル事業では、後従業員参加型のワークショップを開催します。ワークショップでは、職場の改善点を話し合っただき、その内容をワークシートに記載していただき、3ヶ月間職場改善を実施していただきます。ワークショップ終了後1ヶ月から2ヶ月に職場改善の実施状況を研究班が聞き取り調査をおこないます。最終的には3ヶ月後および12ヶ月後に実施状況の評価を行います。ワークショップ開催前に、アンケートへご回答をお願いいたします。アンケートご回答後は、各自お渡しした封筒に入れ厳封をお願いいたします。厳封した封筒は、事業場のご担当者にお渡し下さい。

回答いただいたアンケート用紙は、厳封のまま郵送で東京大学に送られます。その後、個人の氏名、事業場名を除いたデータとした上で、(独)労働安全衛生総合研究所にパスワードをかけた電子ファイルで電子メールで送られ、解析を行います。

【あなたが提供する情報】

本研究で、あなたにご提供をお願いするあなたのデータは、以下になります。氏名、性別、年代、1週間あたりの平均残業時間、職位、雇用形態、事業場名、所属部署、新職業性ストレス簡易調査票80項目。

【個人情報の保護】

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの情報・データは、分析する前に氏名・年齢・職位・事業場名などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、ど

なたのものか分からないようにした上で、東京大学の当研究室において厳重に保管します。またあなたの情報・データは、研究者以外の者は閲覧をできません。事業場の関係者があなたの情報・データを閲覧することはありません。

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・事業所名等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において川上憲人（管理責任者）が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

あなたの人体試料や情報・データ等は、(独)労働安全衛生総合研究所に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において川上憲人（管理責任者）が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は研究連絡者にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、平成26年度厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業「事業場におけるメンタルヘルス対策を促進させるリスクアセスメント手法の研究（H25-労働一般-009）」、主任研究者 川上憲人）から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

【研究計画書の閲覧】

あなたが、本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧したい場合は、下記の研究事務局へお尋ねください。

他の研究対象者等の個人情報等の保護および当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる手続きをさせていただきます。

【将来の研究へのデータの使用の可能性】

あなたからいただいたデータは、将来において、現時点で特定さない将来の

研究のために使用される可能性があります。場合によっては、他の研究機関にあなたのデータを提供することもございます。

この場合、氏名・事業場名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにしたデータを使用いたします。また、研究ホームページにその旨を掲載いたします。

あなたのデータが本研究以外に使用してほしくない場合は研究連絡者にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：時 田 征 人（ときた まさひと）

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：(tokitam-tky@umin.ac.jp)

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。